



2019年4月26日

各 位

会 社 名 日産東京販売ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 酒井 信也
(コード番号 8291 東証第1部)
問合せ先 法務・広報・IR部主管 吉田明生
(TEL 03-5496-5234)

当社子会社（東京日産コンピュータシステム株式会社）の業績予想 及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である東京日産コンピュータシステム株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：吉丸弘二郎）は、2018年5月11日に公表した2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想及び配当予想を、本日、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これによる当社の業績に与える影響は軽微であります。

（添付資料）東京日産コンピュータシステム株式会社開示資料

「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」

以上



2019年4月26日

各位

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社
 代表者 代表取締役社長 吉丸 弘二郎
 (コード番号 3316)
 問合せ先責任者 取締役経営管理本部長 赤木 正人
 (TEL 03-3280-2711)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	540	541	367	58.54
今回修正予想(B)	7,928	546	553	383	61.08
増減額(B-A)	△1,072	6	12	16	
増減率(%)	△ 11.9	1.1	2.2	4.4	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	9,313	513	517	364	57.84

(注)当社は、2018年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております

修正の理由

当社は、前事業年度における大規模なパソコン代替案件の終了に伴う下振れ懸念に対処すべく、顧客関係強化による取引高の拡大とデータセンターなどのマネージドサービス事業の展開に注力した営業活動を行ってまいりました。売上高については、当初見込んでいた受注高の獲得まで至らず、ハードウェアなどの製品及び導入支援サービスが減少したことから、減収となる見込であります。一方、マネージドサービス事業は堅調に推移するとともに、販売費及び一般管理費の削減等により、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、当初見込を達成する予定であります。

上記の状況を反映し、売上高は前回発表数値より1,072百万円減少し、7,928百万円となる見込であります。営業利益546百万円(前回予想比:6百万円増)、経常利益553百万円(前回予想比:12百万円増)、当期純利益383百万円(前回予想比:16百万円増)となり、前回発表数値を上回る見込であります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2018年5月11日発表)	—	—	—	18.00	18.00
今回修正予想	—	—	—	19.00	19.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2018年3月期)	—	0.00	—	87.00	87.00

(注) 当社は、2018年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前期実績(2018年3月期)につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

修正の理由

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、年間の配当性向30%を基準とし、業績に応じた成果配分を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、通期の業績見込を勘案し、2018年5月11日に公表いたしました期末配当予想を1株当たり18円から1円増配し、19円に修正させていただきます。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上